

## 第20期 決算公告

平成27年6月1日

北海道札幌市中央区南九条西五丁目1-1  
北海道アンソロジー株式会社  
代表取締役 堀田 守

## 貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>134,822</b>	<b>流動負債</b>	<b>365,631</b>
現金及び預金	1,372	買掛金	7,206
売掛金	74,771	短期借入金	254,538
商品	14,106	未払金	81,397
仕掛品	5,636	未払法人税	140
繰延税金資産	10,791	賞与引当金	1,880
その他	28,750	ポイント引当金	19,937
貸倒引当金	△ 606	その他流動負債	531
<b>固定資産</b>	<b>7,826</b>	<b>固定負債</b>	<b>695</b>
有形固定資産	0	役員退職慰労引当金	695
工具器具備品	0		
投資その他の資産	7,826	<b>負債合計</b>	<b>366,327</b>
繰延税金資産	432	<b>純資産の部</b>	
その他	7,394	<b>株主資本</b>	<b>△ 223,678</b>
		資本金	10,000
		利益剰余金	△ 233,678
		利益準備金	2,500
		その他利益剰余金	△ 236,178
		別途積立金	220,000
		繰越利益剰余金	△ 456,178
		<b>純資産合計</b>	<b>△ 223,678</b>
<b>資産合計</b>	<b>142,648</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>142,648</b>

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産

- (1) 商品及び仕掛品 先入先出法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産及び投資不動産 定率法  
ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く。)については、定額法を採用しております。
- (2) 無形固定資産  
自社利用のソフトウェア 社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法

3. 引当金の計上基準

- (1) 貸倒引当金 売掛債権等の貸倒損失に備えるため、事業年度末の一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
- (2) 賞与引当金 使用人及び使用人としての職務を有する役員に対して支給する賞与に充てるため、支給予定見込額の事業年度負担分を計上しております。
- (3) ポイント引当金 販売促進を目的とするポイント制度により、発行したポイントの利用に備えるため、ポイントの利用実績率に基づき、将来利用されると見込まれる額を計上しております。
- (4) 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金支給に備えるため、内規に基づく事業年度末所要額を計上していましたが、平成25年2月28日開催の臨時株主総会終結時をもって、役員退職慰労金制度を廃止いたしました。  
事業年度末の役員退職慰労引当金残高は、役員退職慰労金制度適用期間中から在任している役員に対する支給見込額であります。

4. その他計算書類作成のための重要な事項

- (1) 消費税等の会計処理 税抜方式によっております。
- (2) 連結納税制度の適用 連結納税制度を適用しております。

株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首 株式数(株)	当事業年度増加 株式数(株)	当事業年度減少 株式数(株)	当事業年度末 株式数(株)
発行済株式				
普通株式	200	—	—	200
合計	200	—	—	200

その他の注記

記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。